

月	週	単元	小単元・項目	時数	主な目標	重要 観点	評価方法	指導法の工夫	学習のアドバイス
4	1	深まる 学びへ	国語の学習について ●朝焼けの中で  ●握手 漢字を確認しよう  説得力のある考えを述べよう 批評文を書く(書写)原稿用紙に書こう	1	・一年間の学習について見通しを持つ。	④	中間テスト 期末テスト 漢字テスト 音読 スピーチ 毎月の詩作り (短歌俳句詩など) 書写の作品 感想文 意見文 提出物 (ノート・ワーク・ プリントなど) 授業態度 発表 忘れ物	ワークシートを利用	・登場人物の言葉や動作から人柄や 心情をとらえ、語句の効果的な使い 方や表現、特徴を理解しよう。 ・自分の考えを明確に伝えるために 効果的な構成を工夫しよう。 ・原稿用紙の使い方を確認しよう。 ・適切に使えるようにしよう。 ・意見を評価しながらメモを取ろう。 ・根拠や理由に着目して文章を読み 論理の展開を捉え、自分の表現に役 立てよう。
	2			2	・文章を読み、筆者の自然や人間などに対する 思いを捉える。				
	3			5	・忘れがたい人物との交流を描く小説を読み、その人物 像から人の優しさや厳しさについて考え、人間や社会 についての見方考え方を深める。				
	4			5	・社会生活の中から関心のある事柄を決め、取材を重 ねて考えを深める。・論理の展開を工夫し、資料を適切 に引用するなどして、説得力のある文章を書く。				
5	1	多様な 視点 から	●関連教材「批評」の言葉をためる 言葉1和語・漢語・外来語 評価しながら聞こう ●月の起源を探る 漢字を確認しよう 推敲して、文章を磨こう  自分の魅力を伝えよう 記者会見型スピーチをする	1	・和語・漢語・外来語を理解する。	⑤ ② ④ ⑤ ③		ワークシートを利用 評価表の利用	・相手の質問に答えながら自分のこ とを上手に伝えるスピーチの仕方を 学んでいこう。 ・熟語の読み方について理解しよう。 ・俳句のきまりやそのリズムを捉えよ う。自分の思いを俳句にしてみよう。 ・「伝わる」表現について考えよう。
	2			1	・それぞれの意見を自分の考えと比べながら聞き取る。				
	3			4	・科学的なものの見方や研究方法を知り、それらにつ いて自分の考えを持つ。・文脈の中での語句や図の使い 方に注意して読み、筆者の論理の展開を捉える。				
	4			3	・聞き手の求める情報を的確に捉え、自分の経験や知 識を整理して話す。 ・聞き手の反応に応じて説明や話し方を工夫する。				
6	1	豊かな 言葉	漢字1熟語の読み方 ●俳句の可能性・俳句十六句 (書写)短冊に書こう ●言葉を使おう もっと「伝わる」表現を目ざして 文法への扉1	1	・重箱読み、湯桶読みなどについて理解する。	⑤ ④ ③ ⑤		筆ペンの使用	・文法の問題をたくさんやってみよう。 ・様々な種類の本を知り、進んで読 書をし読書習慣を身につけよう。 ・読書を生活に役立て、自己を向上 させようとする態度を育てよう。 ・語句や表現に着目して本を読み、自 分の表現に役立てよう。
	2			4	・世界で最も短い詩として親しまれている俳句につ いて理解し、表現の深さを自由に読み味わう。				
	3			2	・伝え合いの中で言葉が果たす役割について考える。				
	4			1	・文節・連文節の係り受けや呼応の副詞について理解する。 ・今までの読書生活を振り返り、本とのかかわり方につ いて考える。 ・今後読みたい本について考えを広げる。				
7	1	読書と 情報 時代を 伝える	●読書生活をデザインしよう 未来のわたしにお薦めの本  ●蝉の声(読書教材) ●高瀬舟(読書教材) ●光で見せる展示デザイン (読書教材) 夏休みの課題について ●挨拶一原爆の写真によせて	1	・文節・連文節の係り受けや呼応の副詞について理解する。 ・今までの読書生活を振り返り、本とのかかわり方につ いて考える。 ・今後読みたい本について考えを広げる。	⑤ ④ ④ ④		国文法資料の利用	・文法の問題をたくさんやってみよう。 ・様々な種類の本を知り、進んで読 書をし読書習慣を身につけよう。 ・読書を生活に役立て、自己を向上 させようとする態度を育てよう。 ・語句や表現に着目して本を読み、自 分の表現に役立てよう。
	2			5	・生死に深くかかわる小説などを読み味わい、人間や 社会、生命について自分の考えを持つ。				
	3			1	・夏休みの課題について確認する。				
	4			2	・唯一の被爆国日本に生きる私たちの日常生活に潜む危 うさについて書かれた詩を読み、現代に生きる人間や社会の 在り方について考える。				
9	1	状況を 読む	●故郷 漢字を確認しよう  話し合いを効果的に進めよう 慣用句・ことわざ・故事成語 文章の形態を選んで書こう 修学旅行記を作る ●関連教材「記憶」と「資料」 ●古今和歌集 仮名序 ●君待つと一万葉・古今・新古今 (書写)短歌をつくろう (書写)散らし書きをしよう ●夏草一「おくのほそ道」から ●関連教材古典の伝統 お薦めの古典を贈ろう ●論理の展開に着目して読もう 新聞の社説を比較する 課題解決に向けて話し合おう 社会への提案をまとめる	1	・夏休みの課題について確認する。	④		朗読CDの利用 ワークをもとに作品の 背景を知る	・夏休みの学習計画を立てよう。 ・詩の語句や表現に込められた意味 を注意深く読み、作者の主張を理解 しよう。 ・文脈の中における効果的な表現や 文章の特徴を捉え、作者の表現から 意図や主題を探ろう。 ・比喩や慣用句に関心をもち、話や 文章の中での働きを理解しよう。 ・自分が表現したいことに最もふさわ しい形態を選び、修学旅行につ いての文章を書いてみよう。 ・表現の特徴を押さえながら読み取る 音読し言葉の響きやリズム・語調を 味わう。 ・行書の字体や大きさに気をつけよう ・作品に出てくる俳句の中から、語句 や表現に着目して好きな句を読み味 わおう。 ・二つの社説を比較して読み、論理の 展開の仕方について考えよう。 ・話し合いが効果的に展開するよう に進行を工夫し、課題解決に向けて考 えを生かし合おう。 ・繰り返し確認しておこう。 ・根拠や理由に着目して文章を読み 論理の展開を捉え、自分の表現に役 立てよう。 ・積極的に活用できるようにしよう。 ・冬休みの学習計画を立てよう。
	2			6	・作品を通して人間と社会とのかかわりについて考え、自分 の意見を持つ。・情景や人物を描写する語句や表現に着目 し、登場人物の心情や作者の意図を読み取る。				
	3			1	・効果的・効率的な話し合いの進め方について考える。				
	4			1	・慣用句などの効果的な表現の方法について調べる。				
10	1	いにし えの心 と語ら う	●関連教材「記憶」と「資料」 ●古今和歌集 仮名序 ●君待つと一万葉・古今・新古今 (書写)短歌をつくろう (書写)散らし書きをしよう ●夏草一「おくのほそ道」から ●関連教材古典の伝統 お薦めの古典を贈ろう ●論理の展開に着目して読もう 新聞の社説を比較する 課題解決に向けて話し合おう 社会への提案をまとめる	1	・和歌に対する昔の人々の思いを捉え、人間や自然に対す る考え方を理解する。	④ ④ ③ ④ ④	中間テスト 期末テスト 漢字テスト 朗読 暗唱 書写の作品 感想文 意見文 提出物 (ノート・ワーク・ プリントなど) 授業態度 発表 忘れ物	ワークシートを利用	・表現の特徴を押さえながら読み取る 音読し言葉の響きやリズム・語調を 味わう。 ・行書の字体や大きさに気をつけよう ・作品に出てくる俳句の中から、語句 や表現に着目して好きな句を読み味 わおう。 ・二つの社説を比較して読み、論理の 展開の仕方について考えよう。 ・話し合いが効果的に展開するよう に進行を工夫し、課題解決に向けて考 えを生かし合おう。 ・繰り返し確認しておこう。 ・根拠や理由に着目して文章を読み 論理の展開を捉え、自分の表現に役 立てよう。 ・積極的に活用できるようにしよう。 ・冬休みの学習計画を立てよう。
	2			5	・内容にふさわしい文章の形態を選び、構成を工夫して書く ・文章の構成や表現の工夫などを評価し合い、もの見方 や考え方を深める。				
	3			1	・和歌に対する昔の人々の思いを捉え、人間や自然に対す る考え方を理解する。				
	4			3	・歴史的背景などを想像しながら、作者のもの見方や感 じ方を読み取る。・文語文を表現の仕方や文体の特徴に注 意して読み味わう。				
11	1	論旨を 捉える	●論理の展開に着目して読もう 新聞の社説を比較する 課題解決に向けて話し合おう 社会への提案をまとめる	1	・和歌に対する昔の人々の思いを捉え、人間や自然に対す る考え方を理解する。	④ ④ ③ ④ ④		ワークシートを利用	・表現の特徴を押さえながら読み取る 音読し言葉の響きやリズム・語調を 味わう。 ・行書の字体や大きさに気をつけよう ・作品に出てくる俳句の中から、語句 や表現に着目して好きな句を読み味 わおう。 ・二つの社説を比較して読み、論理の 展開の仕方について考えよう。 ・話し合いが効果的に展開するよう に進行を工夫し、課題解決に向けて考 えを生かし合おう。 ・繰り返し確認しておこう。 ・根拠や理由に着目して文章を読み 論理の展開を捉え、自分の表現に役 立てよう。 ・積極的に活用できるようにしよう。 ・冬休みの学習計画を立てよう。
	2			5	・文章を読み比べて、もの見方や考え方を広げる。 ・社説を比較して、文章の構成や展開、表現のしかたの違 いや効果について考える。				
	3			2	・社会的な課題について説得力のある提案をし、意見を調 整し合いながら共同宣言をまとめる。				
	4			2	・三年間の文法のまとめを行う。				
12	1	未来へ 向かっ て	●ネット時代のコペルニクス 一知識とは何か 漢字を確認しよう 漢字2 漢字の造語力 冬休みの課題について	1	・三年間の文法のまとめを行う。	⑤ ④ ⑤ ⑤		国文法資料を利用 ワークの資料を利用 する朗読CDの利用	・繰り返し確認しておこう。 ・根拠や理由に着目して文章を読み 論理の展開を捉え、自分の表現に役 立てよう。 ・積極的に活用できるようにしよう。 ・冬休みの学習計画を立てよう。
	2			5	・筆者のもの見方に学び、情報化社会の可能性と困難に ついて自分の意見をもつ。・語句の用い方や比喩などの効 果、論理展開のしかたについて考える。				
	3			1	・翻訳語や新しい語について知る。				
	4			1	・冬休みの課題について確認する。				
1	1	未来へ 向かっ て	三年間の歩みを編集しよう ポートフォリオを編み、語り合う (書写)今年の決意を表現しよう  ●学びて時にこれを習ふ 一「論語」から ●アラスカとの出会い ●温かいスープ ●聴くということ ●わたしを束ねないで (書写)詩を書こう 漢字3 漢字のまとめ 三年間の総まとめ	6	・伝える内容を明確にし、紙面構成を工夫しながら編集する ・ポートフォリオの内容を互いに評価し合い、もの見方や 考え方を深める。 ・中国古典の論語を読み、現代にも通じる人間の生き方に 対する鋭い観察や深い思索を読み取り、自分のもの見方 や考え方を深める。	③ ③ ④ ④ ④ ③ ⑤ ④		ワークシートを利用 筆ペンの使用 ワークで孔子と論語 について学習する ワークの資料を利用 する  朗読CDの利用	・三年間の学習記録をまとめた「ポ ートフォリオ」を編集し、自らの歩みを振 り返ろう。 ・今年の決意を短歌にしてみよう。 ・訓読文と書き下し文について理解し 孔子の他の言葉も読んでみよう。 ・随筆や評論を読んで考えたことを語 り合い、自分の考えを深めよう。 ・言葉の使い方や比喩、対比など詩 の特徴を生かして朗読しよう。 ・適切に使えるようにしよう。 ・読解問題や古典・漢文問題に慣れ よう。丁寧な字で書こう。 ・中学校生活を振り返り、自分の思い を文章にしてみよう。 ・言いたいことが伝わるように考えて 丁寧に書こう。
	2			2	・目的や意図に応じて文章を読み、人間・社会 などについて考えを深め、表現の仕方や特徴を とらえて自分の表現に生かす。				
	3			3	・人間の生き方を訴えかける詩を読み、人間や社会に ついて考え、自分の意見をもつ。				
	4			1	・漢字の成り立ち、音訓や字義について正しく理解する。				
3	1	三年間を振り返って(作文) (書写)後輩へ贈る言葉	三年間を振り返って(作文) (書写)後輩へ贈る言葉	1	・三年間を振り返って自分の思いを文章にまとめる。	③ ③ ③ ③		筆ペンの使用	・三年間の学習記録をまとめた「ポ ートフォリオ」を編集し、自らの歩みを振 り返ろう。 ・今年の決意を短歌にしてみよう。 ・訓読文と書き下し文について理解し 孔子の他の言葉も読んでみよう。 ・随筆や評論を読んで考えたことを語 り合い、自分の考えを深めよう。 ・言葉の使い方や比喩、対比など詩 の特徴を生かして朗読しよう。 ・適切に使えるようにしよう。 ・読解問題や古典・漢文問題に慣れ よう。丁寧な字で書こう。 ・中学校生活を振り返り、自分の思い を文章にしてみよう。 ・言いたいことが伝わるように考えて 丁寧に書こう。
	2			1	・後輩に伝えたいことを短歌や短い文章にまとめ、筆 ペンを使って丁寧に書く。				
	3								
	4								
計				105					

毎月の詩(書写)については 授業 進度をみながら、随時行う。

観点 ①関心・意欲・態度 ②話すこと・聞くこと ③書くこと ④読むこと ⑤言語事項 ※観点①は、全ての単元において評価する。